

## 電子投票を終えられた 市民の皆さんの声



東北初の電子投票とあって、大勢の報道・自治体関係者なども取材や視察に訪れました

事前に1回練習していました。案でいいですね。

画面がよく見えないと思ってメガネを持ってきましたが、はっきり画面が見えたので大丈夫でした。

模擬投票を体験してなくて初めてでしたが、簡単に大丈夫でした。

選択した候補者を訂正するのにとても大変でしたが、まあまあでした。

年寄りの私でも楽だったので、若い人ならもっと簡単だったのでは。

手書きしなくて少しさびしい気もしますが、簡単で良かったです。

事前に模擬投票を体験していたので、候補者の名前を探すのに時間がかかりましたが、それ以外はスムーズでした。

(事務従事職員に)方法を教えていただいたので大丈夫でした。

お話を聞いた市民の方の声はおおむね好評でした。皆さんはいかがでしたか？

## 開票結果

無効票は不在者投票分の35票のみ  
投票意思が正確に反映されました  
前回の市議選では、どの候補者に投票したか判読困難とされた、284票の無効票が、今回は不在者投票分の35票のみとなりました。電子投票分は無効票はありませんでした。

区分	電子投票	不在者投票	計
投票者数	21,552	1,847	23,399
有効投票数	21,454	1,812	23,266
無効投票数	0	35	35
操作を途中で終了した方	95	-	95
投票していないことが判明した方	3	-	3

「操作を途中で終了した方」が95名  
いましたが、この方々は投票機画面の「投票しないで終了する」を選択して操作を終えられた方のことです。また、「投票していないことが判明した方」3名は、投票カードを受け取った後に、候補者名などの選択操作をしないでカードを返却した方のことです。

## 午後8時 投票終了

投票終了後、各投票機から速やかに投票記録を収めた記録媒体が取り出され、記録媒体は、投票管理者・立会人の手で厳重に封印の上、保管箱に収められて開票所に搬入されました。

投票終了後、速やかに記録媒体を抽出

記録媒体を厳重に封印する投票管理者・立会人の皆さん(白石第5投票所)



## 投票率は72.5パーセントと 前回市議選を上回りました

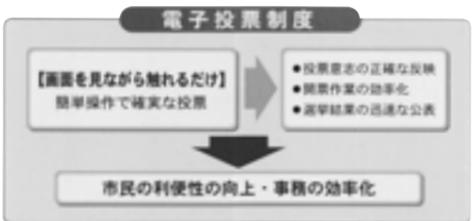
今回の投票率は、当日分・不在者投票分合わせて72.50パーセント。

市民の皆さんの関心の高さを反映して、前回市議選の投票率を0.44パーセント上回りました。

投票結果表

区分	選挙当日 有権者数	投票者数			投票率
		電子投票	不在者投票	計	
男	15,589	10,191	787	10,978	70.42%
女	16,685	11,361	1,060	12,421	74.44%
計	32,274	21,552	1,847	23,399	72.50%

## 電子投票を振り返って



電子投票制度の概略図にそって、電子投票の結果を検証します。

「簡単操作で確実な投票」について

事前の模擬投票体験を実施したこともあり、ほとんどの市民の方が、さほど違和感なく「画面を見ながら触れるだけ」の投票機操作をされていました。トラブルも発生しましたが、投票機を速やかに交換し、それまでの投票記録を厳格に保護するなどして対応し、投票記録の正確さを守りました。

「投票意思の正確な反映」について

電子投票分の投票結果では、どの候補者に投票したか判断できない「無効票」は全く発生しませんでした。電子投票では、市民の皆さんの投票意思が正確に反映されました。

## 午後9時 開票開始

開票は中央公民館の大ホールに設営された開票所で行われ、電子投票分・不在者投票分同時に開始されました。



開票所には、大勢の市民の皆さんや報道・視察関係者が傍聴に訪れました

## 午後11時5分 開票終了

電子投票分の開票は55分で終了

全体の開票時間も前回の半分以下に！

電子投票分の開票は、予備機扱いとした投票機の投票記録媒体についても、万全を期すため確認したので、当初の見込みより10分ほど遅れたものの、55分で終了しました。

不在者投票分と合わせた開票終了までに要した時間も2時間5分と、4時間18分を要した前回の半分以下に開票時間が短縮されました。

電子投票分の開票終了時刻

午後9時55分(所要時間55分)

不在者投票分と合わせた

開票終了時刻

午後11時5分(所要時間2時間5分)

電子投票分の開票作業  
各投票機から抽出された記録媒体(コンパクトフラッシュ)を開票機器で読み取りました。  
電子投票された21,552票分の開票に従事した職員は3人。開票作業の効率化が図られました。



不在者投票分の開票作業  
不在者投票された1,847票分の開票は、開票・審査点検・計算の各担当、合わせて29人により、従前どりの開票方法で行われました。



## 次回の電子投票に向けて

白石市が電子投票を実施するのは、現在のところ、条例で定められた「市の選挙」のみですので、次の電子投票は、平成16年秋に実施が予定される「市長選挙」となります。

おおむね成功したといえる今回の電子投票の経験を、発生したトラブルの経験なども含めて、次回の選挙に生かしていかなければなりません。

次回の選挙は、市民の皆さんが不安なく電子投票できるよう、今回以上に模擬体験などの啓発活動や機器の充実を図り、より効率的で迅速な開票を目指します。

市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

不在者投票の電子投票化について

前回の市議会議員選挙の開票終了は、開票開始から4時間18分後の、午前1時58分でしたので、開票時間は半分以下に短縮され、迅速に選挙結果を公表することができました。

【市民の利便性の向上・事務の効率化】をおおむね達成できたといえます。

